

巡回展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」実施報告書

記入日:平成29年11月14日

| | |
|--------|-------------|
| 館名・団体名 | 千葉県立現代産業科学館 |
|--------|-------------|

1. 開催概要

開催期間

平成 29年 9月 20日(水) ~ 平成 29年 11月 12日(日)

開催日数: 46 日

展示会場広さ (展示会場平面図があれば、別途添付してください)

約 115 m² (第1会場: 約 20 m² / 第2会場: 約 95 m²)

開催の様子 (写真) ※頁数が増えてもかまいません

第1会場:特設コーナー

導入および平成29年度企画展「ちばの発酵」関連展示

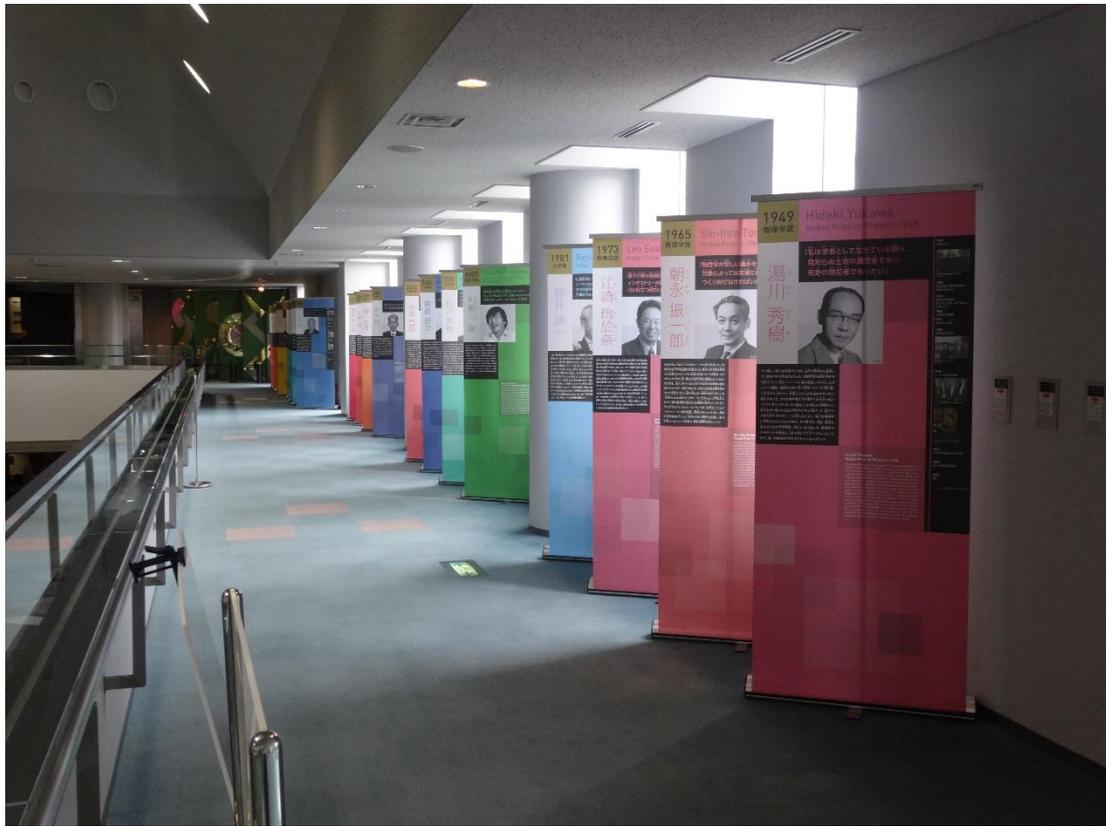
○微生物を研究対象とした研究者(大村氏・大隅氏)の研究者紹介・研究紹介・関連資料



第2会場:2階連絡通路

ノーベル賞を受賞した日本の科学者

○年代順の研究者紹介



2. 開催にあたって

開催までのながれ（設営・撤去における対応スタッフ数）

| | | |
|-------------|---------------|----------|
| | 平成29年 9月18日 | 展示物搬入 |
| 平成29年 9月18日 | ～ 平成29年 9月18日 | 設営(5 人) |
| 平成29年 9月20日 | ～ 平成29年11月12日 | 開催 |
| 平成29年11月13日 | ～ 平成29年11月13日 | 撤去(5 人) |
| 平成29年11月14日 | | 展示物搬出 |

内容および運営上の工夫があればご記入ください

より多くの資料を展示するためには展示会場の制約があり、1会場での展示が難しかったため、会場を2会場に分けて展示を行った。また、当館の平成29年度企画展「ちばの発酵」の関連展示として、微生物を研究対象とした大村氏と大隅氏をピックアップし、会場を別にして展示を行った。第1会場「企画展関連展示(大村氏・大隅氏の研究者紹介・研究紹介・関連資料)」と第2会場「ノーベル賞を受賞した日本の科学者(研究者紹介)」とした。2階連絡通路での展示は、ロールスクリーンパネルを平面的に並べるのではなく、角度をつけて立体的にすることで、直線通路で展示物が映えるように配置した。

展示物に対する来場者の反応はどうでしたか

開催期間中に本年のノーベル賞の授賞者発表も重なり、関心も高く、熱心に足を止めて見ている見学者も多かった。また、ロールスクリーンパネルの内容(研究者紹介・研究紹介)をまとめた図録のようなものが欲しいという要望もあった。ただ、当館の来館者層の中心となっている小学校低学年以下の子どもたちには内容が難しく、むしろ保護者や年配の来館者に好評だったようである。

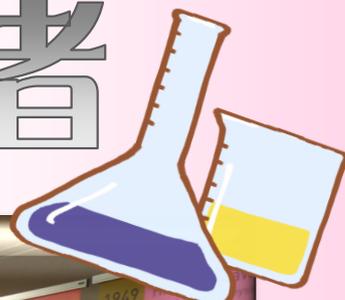
3. 広報について

広報方法(チラシ等のデータがあれば、別途添付してください)

館内ポスター掲示、ホームページでの案内(館内ポスター使用) ※添付 PDF

国立科学博物館 巡回展

ノーベル賞を受賞した 日本の科学者



9月20日(水)~11月12日(日)

会場：1階特設コーナー

2階連絡通路

※入場料が必要です

主催：千葉県立現代産業科学館

共催：国立科学博物館 協力：全国科学博物館振興財団

